

事務事業点検シートの見方(表面)

事務事業シート

整理番号 03005

事務事業の名称です。名称の後の括弧内の記載は、分割・統合・名称変更等を行った事業の分割・統合・名称変更前の事務事業名等です。

「明石市第4次長期総合計画」の行政施策計画に該当する事業の場合は、該当する章と節を記載しています。

事業目的を「対象(誰を・何を)」と「意図(どういう状態にしたいのか)」に分けて記載しています。

事務事業の開始年度を記載しています。なお、開始年度がわからない場合は、「不明」としています。

事務事業の根拠となる法律・条例及び要綱等の名称を記載しています。

事業の実施記載しています。各項目の示す意味合いは以下のとおりです。
 「直営」・・・市が直接、事業を実施している
 「委託」・・・市が民間事業者等に委託して事業を実施している
 「補助・助成」・・・市が市民団体等に補助金・助成金等を出すことにより事業を実施している
 「指定管理」・・・指定管理者制度を活用して事業を実施している
 「その他」・・・その他の方法により事業を実施している

事業に携わる職員数を正規職員・臨時職員等に区分して記載しています。ここで記載する職員の範囲は原則として課長以下の職員としています。
 1人の職員が1年間その事業だけに携わった場合を1人としています。例えば1人の職員が1年間4つの事業に均等に携わった場合は、それぞれの事業に0.25人の計上としています。

事務事業名		行政改革推進事業(事務改善事業から名称変更)		
第4次長期総合計画	(章)	市民サービスの向上を図る行財政運営	所管課	総務部行政改革課
	(節)	事務事業の見直し	連絡先	(078)918-5092
事業目的	<対象(誰を・何を)> 本市が行なう事務事業及び市職員 <意図(どういう状態にしたいのか)> 社会経済情勢の急激な変化や多様化・高度化する市民ニーズに対応すべく、経費を削減しつつも市民サービスが低下しないよう、持続的に行政サービスを提供できる、地方分権にふさわしい簡素で効率的な行財政運営体制の構築を目指して、行政内部の効率化・スリム化を進める。			
事業内容	市が取り組むべき行革項目を取りまとめた「行政改革実施計画」を策定し、その進捗状況を把握しながら行政改革を推進している。(行政改革推進本部会議の開催、行政改革推進懇話会の開催、実施計画の進捗状況の調査) 平成19年度に市外部の委員で構成する行政評価委員会を設置し、「行政評価(事務事業評価及び指定管理業務評価)」に取り組んでいる。行政評価委員会の会議は基本的に傍聴により公開し、所管課へのヒアリングを通じて外部評価を実施している。また、議事録や評価シート等の会議資料を市民へ公表することにより、行政の説明責任を徹底し、市が行う事務事業への理解が得られるよう努めている。 市民サービスの向上と経費の削減を図るため、「指定管理者制度の導入」を進めており、本市では同制度についても民間活力の活用方策の一つと考え、その効果的な運用を図るべく、当課において、平成17年6月に「公の施設の指定管理者制度に関する指針」を策定し、これに基づき平成18年4月より制度を導入している(平成21年4月1日現在:28施設)。現在、導入施設に係る効果的なモニタリングの実施を進めている。 市民等の意見を市政に反映し、市政運営の公正性を高めることを目的として設置される「審議会等」に関して、その効果的・効率的な運営を図るべく、各所管課における設置運営状況を調査し、全庁的な改善の取り組みを進めている。平成21年度からは、市が実施する事務事業全般についての自己点検である「事務事業の総点検」に取り組んでい			
開始年度	平成8年			平成21年度予算の事業費の明細(千円)
根拠法令・要綱等	行政改革大綱			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
平成21年度人員(人)	正規職員4人			
事業費(千円)	19年度決算額	20年度決算額	21年度予算額	
人件費(千円)【参考値】	63,675	42,950	36,000	
総事業費(千円)【参考値】	65,710	44,297	38,033	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	65,710	44,297	38,033
		合計		2,033

各年度の人件費は、事務事業ごとの従事職員数に平均給与等乗じて算定したものであり、参考値となります。また、総事業費についても同様です。

事業の整理番号を記載しています。この番号は事務事業の総点検のために便宜的に割り振ったものです。作業の都合上、欠番も生じています。

事業の所管課名及び所管課の電話番号(ダイヤルイン)を記載しています。

事業の具体的な内容を記載しています。

事業に係る平成21年度当初予算の事業費の明細を記載しています(千円未満は四捨五入)。

事業に係る事業費を記載しています。平成19・20年度は決算額、平成21年度は当初予算額を記載しています(千円未満は四捨五入)。

事業にかかる人件費を記載しています。その事業に携わっている人員数に職種ごとの平均給与等乗じて算出した参考値です(千円未満は四捨五入)。

事業にかかる総事業費を記載しています。「事業費」と「人件費」を足した参考値です(千円未満は四捨五入)。

総事業費を賄う財源の内訳を記載しています。各項目の示す意味合いは以下のとおりです。
 国・県支出金・・・国・県からの補助金等
 地方債・・・市債等を発行して、これを財源に充てる金額
 その他特定財源・・・特定の用途のためにいただいた使用料・手数料・保険料等の財源
 一般財源・・・市税等用途を限定されていない財源

事務事業点検シートの見方(裏面)

事務事業判定シート

「目的の妥当性」の判定
 事務事業の目的は関係法令、国・県の施策、市の総合計画、市行政委員会の基本方針などの諸原則に沿ったものか、また、時代や市民ニーズの変化を踏まえた適切なものか。市実施主体として取り組むべきかなど、目的自体の妥当性について、検証・評価し記載しています。

優 目的自体に優れたものが認められる
 可 目的に一定の妥当性が認められる
 否 事業目的の妥当性は認めがたい

<主なチェック項目例>
 ・法令で、市の事業として義務付けられているか。
 ・そもそも市が実施すべき事業か。(民間に任せられないか。)
 ・公が実施しないといけないとして、市が関与しなければならないのか。(本来、国・県がすべきではないのか。)
 ・厳しい財政状況のなか、実施すべき緊急性があるか。
 ・事業に対する(市民)ニーズなどを把握しているか。また、その方法(意識調査など)はどうか。

「成果の有効性」の判定
 事務事業の成果は当初の目的に照らして十分なものとなっているか、不十分であればその原因は何か、改善すべき点は何かなど、事務事業の成果について、検証・評価し記載しています。

優 当初の目的が達成され十分な成果があがっていると認められる
 可 当初の目的は概ね達成されているが十分な成果があがっているとまでは認められない
 否 当初の目的が達成されているとは認めがたい

<主なチェック項目例>
 ・上位施策と整合性が取れているか。
 ・投資したコストに見合う事業の効果はあがっているのか。
 ・事業目的達成のための手段として有効か。

「具体的な見直し・改善内容」
 総合評価を受けて、平成22年度の事業実施にあたり見直し・改善を行う項目の内容等を記載しています。

「見直し・改善額」
 見直し・改善内容により平成21年度当初予算と比較して削減が見込まれる金額を記載しています。

(1) 目的の妥当性 ((優)・可・否)			
行政改革は、厳しい財政状況の下、自立した自治体の行政運営を図るために不可欠な取り組みであり、本事業を実施する妥当性が大いに認められる。また、より一層の効果的・効率的な業務の執行を行い、更なる市民サービスの向上を果たすため、市が実施主体となって取り組むべき必要性も認められる。			
(2) 手法の効率性 ((優)・可・否)			
本事業に係る経費は、行政評価委員会や行政改革推進懇話会運営のための報償費や需用費が大半であり、行政改革実施による財政的効果と比較して、事業実施手法の効率性は認められる。			
(3) 成果の有効性 (優 (可)・否)			
数値目標である総職員数2300名体制の実現、経常収支比率95%未満の達成については、平成21年4月1日現在で総職員数2472名と対前年度比94人減となり、また、平成20年度の経常収支比率は94.9%と目標を達成している。また、行政改革実施計画の進捗状況は、計画に掲げる80の取組項目中、すでに達成または、取組中のものが88%となっており、着実な成果が上がっている。 行政改革実施計画に定める計画期間中(平成19年度～平成23年度)の基金40億円の確保は目処がついてきたが、平成23年度から基金に頼らない財政体質の構築については依然として厳しい状況である。			
(4) 総合評価			
評価	維持		
	現在の厳しい経済状況は、今後とも続くことが予想され、市税収入の回復や地方交付税の増額は当面期待できないことから、今後とも、安定的で基金に頼らない行財政運営を図るため、引き続き行政改革に取り組んでいく必要がある。		
【評価の凡例】 拡充 維持 縮小 改善 休廃止			
(5) 具体的な見直し・改善内容			
	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) =
報償費の削減(指定管理者監理研修講師報償)	100	0	100
合計	100	0	100

「手法の効率性」の判定
 事務事業の進め方は理にかなったものか。民間への委託若しくは市民による運営への移行など取り組みに改善の余地はないか。コストを下げる工夫は十分なされているかなど、実施手法の効率性について、検証・評価し記載しています。

優 事業実施手法等に創意工夫がなされ効率的な事業運営が図られている
 可 概ね手法に問題はないものの、さらにコストを削減する余地がある
 否 効率的な事業運営が行われているとは認めがたい

<主なチェック項目例>
 ・現実実施方法と代替方法と経費比較してどうか。(直営と外部委託・購入とリースなど)
 ・事務事業に要する経費・事業の内容などについて、他都市と比較してどうか。
 ・委託や補助をしている場合、相手方から実績報告などを求めているか。(お金の出っぱなしになっていないか。)
 ・会館運営など施設管理運営事業の場合、その稼働率・利用率は高いか。(無駄なく使用・利用されているのか。)
 ・利用者などに適正な負担を求めているか。

「総合評価」
 上記の3つの観点から実施した分析的評価を踏まえ、行政を取り巻く環境変化や市民ニーズ、今後の事業のあり方、方向性、優先度などを総合的に検討し、総合評価として以下の5つに区分するとともに、今後の取組方針について記載しています。

拡充 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維持 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 縮小 現在の方向性でよいが、事業規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
 改善 現在の方向性から見直し、規模・手法についても改善を図るべき事務事業
 休廃止 事業そのものについて休廃止すべき事務事業

「新規事業額」
 見直し・改善等に伴い、新たな行事・事業メニュー等を立ち上げようとする場合に、平成21年度当初予算と比較して増加が見込まれる金額を記載しています。

「削減額」
 「見直し・改善額」から「新規事業額」を差し引いたトータルの削減見込額を記載しています。

事務事業シート

整理番号 22001

事務事業名		医療部門		
第4次長期総合計画	(章)	健やかで安心して暮らせるまち	所管課	診療部・看護部
	(節)	医療の充実	連絡先	(078)912-2323
事業目的	<対象(誰を・何を)> 患者・市民			
	<意図(どういう状態にしたいのか)> 患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える。			
事業内容	地域住民の医療・福祉に寄与するため、一般病床398床、18の診療科を標榜し住民の健康維持に努めており、以下の取組を行ってきた。 高度な医療、医療ニーズに対応するため診療体制の充実を図ってきた。 昭和63年麻酔科の標榜、平成2年精神科、理学診療科を標榜、平成9年心療内科新設、平成9年肝臓内科を院内標榜、平成15年循環器科、神経内科を標榜等 平成13年救急病院として認定を受け、2次救急病院として救急診療を行っている。 平成19年医療情報を電子化し、医療安全性の向上と待ち時間の短縮、業務の効率化のためにオーダリングシステムを導入した。 平成20年病院機能評価(Ver5.0)の認定を受け、医療に対する信頼の向上に努めている。 平成21年 看護基準10対1から7対1を取得し、急性期病院に求められる看護体制を強化した。 クリニカルパスの導入 クリニカルパスとは、簡単に述べると「一定の疾患や疾病を持つ患者に対して、入院指導、患者へのオリエンテーション、検査、ケア処置、退院指導などをスケジュール表のようにまとめたものであるもの」。パスの利用により、医療の質向上、患者の満足度向上を図っている。 医療機器を導入し、診療内容の充実と医療水準の向上に努めている。			
	開始年度	昭和 25 年		
根拠法令・要綱等	明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
平成21年度人員(人)	正規職員246人 臨時職員・アルバイト等84人			
事業費(千円)	19年度決算額	20年度決算額	21年度予算額	
人件費(千円)【参考値】	2,434,191	2,479,600	2,945,304	
総事業費(千円)【参考値】	2,569,933	2,621,531	2,877,575	
総事業費(千円)【参考値】	5,004,124	5,101,131	5,822,879	
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他特定財源	4,364,207	4,482,639	5,115,176
	一般財源	639,917	618,492	707,703
材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等		1,747,365	
給与費	医師・看護師の人件費		2,877,575	
経費	事業経営に必要な経費		854,416	
減価償却費	固定資産にかかる減価償却費		187,116	
研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用		28,087	
医業外費用	企業債利息等		128,320	
合 計			5,822,879	

各年度の人件費は、事務事業ごとの従事職員数に平均給与等を乗じて算定したものであり、参考値となります。また、総事業費についても同様です。

事務事業判定シート

(1) 目的の妥当性
(<input checked="" type="radio"/> 優 ・ <input type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否) 患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守るには不可欠
(2) 手法の効率性
(<input type="radio"/> 優 ・ <input checked="" type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否)
(3) 成果の有効性
(優 ・ <input checked="" type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否) 患者数が減少しており、収益が減少傾向にある。 産婦人科、消化器科で診療体制の縮小が続いている。

(4) 総合評価	
評価	
拡充	全国的に医師不足が叫ばれており、消化器科、産婦人科の診療体制の確保が最重要課題である。 地域の病院と連携して紹介患者数を増やすなど患者数の減少に歯止めをかける必要がある。 地域の基幹病院として、良質な医療の提供が出来るよう医療水準の向上に努める必要がある。

〔評価の凡例〕 拡充 維持 縮小 改善 休廃止

(5) 具体的な見直し・改善内容	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) = -
平成21年度に現行の医療事務委託契約が終了することから、入札方法や契約内容の見直し等により、委託料の縮減を図る。 <削減額ではないが収支改善内容> ・材料費対医業収益比率はH22年度25.4%を目標とする。(収益が20年度と同じであれば約3000万円の削減に相当する) ・後発医薬品比率はH22年度16%を目標とする。 <見直し内容> ・医師の給与の見直しにより医師の確保を図る。	3,300		3,300
合 計	3,300	0	3,300

事務事業シート

整理番号 22002

事務事業名		コメディカル部門			
第4次長期総合計画	(章)	健やかで安心して暮らせるまち	所管課	医療技術部	
	(節)	医療の充実	連絡先	(078)912-2323	
事業目的	<対象(誰を・何を)> 患者・市民				
	<意図(どういう状態にしたいのか)> 患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えるよう、医療部門を直接支援する。				
事業内容	コメディカルは診療を支援する部門。その業務は、リハビリ、臨床検査、検査など多岐にわたる。これらスタッフと医師、看護師との連携のもとに、患者の診療・治療が進めていく。以下主なコメディカルの事業内容。 放射線部門 放射線部門では、CTやMRIなどの装置で患者の体の内部を撮影し、病気の診断を行う リハビリテーション部門 障害を持った患者に対して、機能障害の改善や、日常生活における動作能力を向上させるための訓練などを行う。 臨床検査部門 患者の体の状態を調べるため、さまざまな検査を行う。検査には、「一般」「血液」「血清」「生化学」「細菌」「病理」「生理」がある。 薬剤部門 主な業務内容は、処方内容の確認、薬の調剤や調製、薬の説明や相談への対応など。また、医薬品の適正管理および医薬品に関する最新情報の収集や提供を行っている。 給食部門 患者の病状や年齢に合わせた治療食を提供するとともに、食事療法が必要なかたには管理栄養士が栄養面での配慮や食事のとり方などの説明を行う。また、入院時には栄養状態を確認し、回復力を高めるため、栄養・食事面からのサポートを行っている。				
開始年度	昭和 25 年			平成21年度予算の事業費明細(千円)	
根拠法令・要綱等	明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
平成21年度人員(人)	正規職員56人 臨時職員・アルバイト等27人				
事業費(千円)	19年度決算額	20年度決算額	21年度予算額		
人件費(千円) 【参考値】	777,050	852,228	908,325		
総事業費(千円) 【参考値】	2,080,195	2,152,158	1,876,737		
財源内訳	国・県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	1,814,278	1,891,218		1,648,642
	一般財源	265,917	260,940	228,095	
		材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等	47,376	
		給与費	医療技術員等の人件費	908,325	
		経費	事業経営に必要な経費	722,847	
		減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	110,407	
		研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	6,673	
		医業外費用	企業債利息等	81,109	
		合 計		1,876,737	

各年度の人件費は、事務事業ごとの従事職員数に平均給与等を用いて算定したものであり、参考値となります。また、総事業費についても同様です。

事務事業判定シート

(1) 目的の妥当性
(<input checked="" type="radio"/> 優 ・ <input type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否) 患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応るには不可欠である。
(2) 手法の効率性
(<input checked="" type="radio"/> 優 ・ <input type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否) 外来については院外処方箋の実施している。 検査について外部委託する部分については制限付き競争入札を導入している。 給食部門については調理業務を委託している。
(3) 成果の有効性
(<input checked="" type="radio"/> 優 ・ <input type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否) 委託化により費用の削減は図れている。

(4) 総合評価	
評価	
維持	医療を直接的に支援する部門であり、この部門だけの評価は困難であると思われるが、最小限のコストで医療をサポートしていく必要がある。

【評価の凡例】 拡充 維持 縮小 改善 休廃止

(5) 具体的な見直し・改善内容	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) = -
平成21年度に現行の給食業務委託契約が終了することから、入札方法や契約内容の見直し等により、委託料の縮減を図る。	1,700		1,700
合 計	1,700	0	1,700

事務事業シート

整理番号 **22003**

事務事業名		診療支援部門							
第4次長期総合計画	(章)	健やかで安心して暮らせるまち			所管課	看護部、医療技術部、業務課			
	(節)	医療の充実			連絡先	(078)912-2323			
事業目的	<対象(誰を・何を)> 患者・市民								
	<意図(どういう状態にしたいのか)> 患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えられるよう、医療部門を間接的に支援する。								
事業内容	診療支援部門は医療部門を側面からサポートする。主な診療支援部門は以下の通り 臨床工学部門 生命維持管理装置や医療機器の専門家としてそれらを安全に操作、管理し他の医療スタッフの方々と連携しながら安全な医療を提供できるよう努め、安全な医療・看護が行われるよう日々感染対策を行っている。 看護補助部門 看護助手は看護師を補助し、クラークは外来、病棟において事務を行う。 中央材料部門 病院全体の手術や処置で使用する器械・器具の洗浄・包装・滅菌を行い現場へ供給している。 医療安全推進部門 医療事故の予防・再発防止対策及び発生時の適切な対応など医療安全体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることを目的とし、インシデント・アクシデント事例を収集し、調査・分析、職員への啓発、広報及び研修などを行っている。 地域医療連携部門 地域の中核病院として地域の病院との連携に努め、地域住民の方々のニーズに合った医療の提供を目指し、紹介患者の予約受付、他医療機関等との連絡調整及び情報交換、入院患者の病院・各種施設・在宅等への退院支援業務を行っている。 診療録管理部門 患者が退院後、診療録が速やかに搬入されるよう病棟と連絡を取り合い診療録を保存・管理を行っている。								
開始年度	昭和 25 年						平成 21 年度 予 算 の 事 業 費 明 細 (千 円)		
根拠法令・要綱等	明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理								
平成21年度人員 (人)	正規職員46人 臨時職員・アルバイト等25人								
事業費(千円)	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 予算額	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等			29,449	
人件費(千円) 【参考値】	283,235	286,931	331,640	給与費	医療技術員等の人件費			331,640	
総事業費(千円) 【参考値】	413,187	417,921	463,025	経費	事業経営に必要な経費			79,599	
財源内訳	国・県支出金				減価償却費	固定資産にかかる減価償却費		9,542	
	地方債				研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用		2,102	
	その他特定財源	413,187	417,921	463,025	医業外費用	企業債利息等		10,693	
	一般財源				合 計		463,025		

各年度の人件費は、事務事業ごとの従事職員数に平均給与等乗じて算定したものであり、参考値となります。また、総事業費についても同様です。

事務事業判定シート

(1) 目的の妥当性
(<input checked="" type="radio"/> 優 ・ <input type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否) 患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応るには不可欠である。
(2) 手法の効率性
(<input checked="" type="radio"/> 優 ・ <input type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否)
(3) 成果の有効性
(<input checked="" type="radio"/> 優 ・ <input type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否)

(4) 総合評価	
評価	
維持	医療を間接的に支援する部門であり、この部門だけの評価は困難であると思われる。 医療安全推進部門は安心して安全な医療を提供するためには、ますます重要となる。 地域医療連携についても推進していき患者やその家族をサポートしていく必要がある。

【評価の凡例】 拡充 維持 縮小 改善 休廃止

(5) 具体的な見直し・改善内容	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) = -
			0
合 計	0	0	0

事務事業シート

整理番号 22004

事務事業名		医事部門			
第4次長期総合計画	(章)	健やかで安心して暮らせるまち		所管課 業務課	
	(節)	医療の充実		連絡先 (078)912-2323	
事業目的	<対象(誰を・何を)> 患者・市民				
	<意図(どういう状態にしたいのか)> 患者サービスの向上を図ると同時に、医療部門へのサポートを行う。				
事業内容	医事部門は、医療事務を行う部門であり、その業務内容は、来院される患者さまの受付事務、入退院事務、診療費の請求及び診療報酬請求事務などである。 また、来院される患者さまと一番最初に接する部門であるため、気持ちよく診療を受けていただくことができるよう患者サービスの向上に努めている。				
	平成19年度に、検査、処方などに係る電子情報システムであるオーダリングシステムを導入し、医療現場の業務を電子化することにより、待ち時間の短縮を図っている。 また、オーダリングシステムの導入は、医療部門における医療安全の向上及び業務の効率化にも寄与している。 平成21年3月から、診療費等の支払いにクレジットカード決済を導入し、患者サービスの向上と未収金対策を図っている。 なお、平成20年度の取扱件数及び金額は、462件、14百万円(平成21年3月分のみ)である。 平成21年4月から、患者さまの病名や症状をもとに手術などの診療行為の有無に応じて、厚生労働省から定められた1日当たりの診断群分類点数をもとに医療費を計算する新しい会計方式であるDPCを導入した。 DPCの導入により、患者さまの属性、疾病や診療行為ごとの情報が標準化されるため、医療部門における医療の質の向上に寄与している。				
昭和 25 年		平成21年度予算の事業費明細(千円)	材料費	診療材料費・医療消耗備品費	723
根拠法令・要綱等			給与費	事務職員の人件費	46,649
実施方法			経費	事業経営に必要な経費	53,590
平成21年度人員(人)			減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	84,804
19年度決算額			研究研修費	研修にかかる費用	284
20年度決算額			医業外費用	企業債利息等	10,427
21年度予算額					
事業費(千円)					
人件費(千円) 【参考値】					
総事業費(千円) 【参考値】					
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特定財源	163,175	170,321	196,477	
	一般財源	0	0	0	
		合計		196,477	

各年度の人件費は、事務事業ごとの従事職員数に平均給与等乗じて算定したものであり、参考値となります。また、総事業費についても同様です。

事務事業判定シート

(1) 目的の妥当性
(優 <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否)
病院事業を運営するにあたって医事部門の役割は不可欠であり、必要性が認められる。
(2) 手法の効率性
(優 <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否)
専門的知識が必要な医療事務業務には民間委託が行われており、業務の効率化が図られていると認められる。
(3) 成果の有効性
(<input checked="" type="radio"/> 優) 可 <input type="radio"/> 否)
医療事務が適正かつ円滑に実施されていることが認められる。 診療費等の支払いにクレジットカード決済を導入するなど先進的な取組みが行われている。

(4) 総合評価	
評価	
維持	病院事業を運営するにあたって医事部門の役割は不可欠であり、引き続き、複雑化する診療報酬制度への対応を図ると同時に、DPC分析による情報を医療部門へ提供していく。 医療事務委託について、委託料の縮減を図っていく。 引き続き、未収金解消に向けた取組みを図っていく。

【評価の凡例】 拡充 維持 縮小 改善 休廃止

(5) 具体的な見直し・改善内容	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) = -
	0	0	0
合 計	0	0	0

事務事業シート

整理番号

22005

事務事業名		総務部門		
第4次長期総合計画	(章)	健やかで安心して暮らせるまち	所管課	市民病院総務課
	(節)	医療の充実	連絡先	(078)912-2323
事業目的	<対象(誰を・何を)> 患者・市民			
	<意図(どういう状態にしたいのか)> 患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えられるよう医療部門等を支援する。			
事業内容	<p>総務部門は病院内でのあらゆる事務処理をとりおこなっている。</p> <p>事業の計画及び総合調整、職員の服務及び人事給与、職員の研修及び福利厚生などに関する事務を行うこと。</p> <p>予算の編成及び執行の調整、決算及び財務諸表の作成などに関する事務を行うこと。</p> <p>施設及び固定資産の維持管理、建物等の増改築及び営繕計画などに関する業務を行うこと。</p> <p>部門内は3つの係(庶務係・経理係・施設係)に分かれており、上記の業務内容を細分化し、日々の業務にあたっている。市民病院は様々な職種の間が働いており、それぞれが密接に連携し、協力しあうことで患者が充実した医療サービスを利用できるように医師、看護師等を陰から支えている。</p>			
開始年度	昭和 25 年			平成 21 年度 予 算 の 事 業 費 明 細 (千 円)
根拠法令・要綱等	明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
平成21年度人員 (人)	正規職員16人 臨時職員4人			
事業費(千円)	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 予算額	
人件費(千円) 【参考値】	240,730	234,788	124,991	
総事業費(千円) 【参考値】	199,281	182,119	190,888	
財源内訳	440,011	416,907	315,879	
国・県支出金				
地方債				
その他特定財源	440,011	416,907	315,879	
一般財源	0	0	0	
		材料費	診療材料費・医療消耗備品費	2,387
		給与費	事務職員の人件費	190,888
		経費	事業経営に必要な経費	38,388
		減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	5,131
		研究研修費	研修にかかる費用	1,054
		医業外費用	企業債利息・消費税雑損失等	78,031
		合 計		315,879

事務事業判定シート

(1) 目的の妥当性

(優 ・ 可 ・ 否)

市民から信頼される高度で良質な医療を提供できるように医師、看護師等を陰から支えるためには不可欠である。

(2) 手法の効率性

(優 ・ 可 ・ 否)

院内保育所の開設、研修・指導体制の充実など、病院職員にとって働きやすい環境を整え、魅力ある病院づくりの取り組みが図られている。
SPD(物品管理供給一元化)システムの見直しを行い、診療材料費の効率的な管理の推進を図っている。

(3) 成果の有効性

(優 ・ 可 ・ 否)

院内保育所の開設により病院職員が子育てをしながら働きやすい環境づくりを推進している。
充実した医療サービスを提供できるようになる体制づくりに貢献していると思われる。
SPD(物品管理供給一元化)システムの見直しにより、診療材料費のコスト削減が図られたと思われる。

(4) 総合評価

評価	
維持	<p>医療を影から支える部門は重要であるが、将来にわたって地域において必要とされる医療を継続して提供するためには、経営の計画と責任の明確化、経費の削減、収入の確保、職員の意識改革などが不可欠であり、それらの推進にあたり最適な経営形態を幅広い観点から検討する必要がある。</p>

[評価の凡例] 拡充 維持 縮小 改善 休廃止

(5) 具体的な見直し・改善内容	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) = -
	0	0	0
合 計	0	0	0

事務事業シート

整理番号 22006

事務事業名		固定資産購入費					
第4次長期総合計画	(章)				所管課	市民病院総務課	
	(節)				連絡先	(078)912-2323	
事業目的	<対象(誰を・何を)> 患者・市民						
	<意図(どういう状態にしたいのか)> 患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える。						
事業内容	21年度は器械備品を54品目を購入する						
開始年度	昭和 25 年						平成 21 年度
根拠法令・要綱等	明石市病院事業の財務に関する特例を定める規則						の事業費
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理						明細
平成 21 年度人員 (人)	/						(千円)
	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 予算額				
事業費(千円)	474,696	225,034	311,000				
人件費(千円) [参考値]							
総事業費(千円) [参考値]	474,696	225,034	311,000				
財源内訳	国・県支出金						
	地方債	229,900		311,000			
	その他特定財源	244,796	225,034				
	一般財源	0	0	0	合 計		311000

各年度の人件費は、事務事業ごとの従事職員数に平均給与等を用いて算定したものであり、参考値となります。また、総事業費についても同様です。

事務事業判定シート

(1) 目的の妥当性
(<input checked="" type="radio"/> 優 · <input type="radio"/> 可 · <input type="radio"/> 否) 安全・安心で質の高い医療を継続していくには不可欠
(2) 手法の効率性
(<input checked="" type="radio"/> 優 · <input type="radio"/> 可 · <input type="radio"/> 否) 査定に際しては収益にどれだけ貢献できるかを考慮している。 院内に機種選定委員会を設け、選定に際しては様々な角度から議論を重ねている。また同程度の効果があるような場合にはより廉価な機種を選定している。
(3) 成果の有効性
(<input checked="" type="radio"/> 優 · <input type="radio"/> 可 · <input type="radio"/> 否) 安全・安心で質の高い医療に役立っている

(4) 総合評価	
評価	
維持	医療用備品については、耐用年数を大幅に過ぎたものが多く、経年劣化が進んでおり、使用に耐えられないものも多くなっている。また、高度な医療に対応するための医療機器の整備も必要である。しかし経営を圧迫することも考えられ、必要最低限に絞っていく必要がある。

【評価の凡例】 拡充 維持 縮小 改善 休廃止

(5) 具体的な見直し・改善内容	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) = -
			0
合 計			

事務事業シート

整理番号	22007
------	-------

事務事業名		企業債償還金				
第4次長期総合計画	(章)		所管課	市民病院総務課		
	(節)		連絡先	(078)912-2323		
事業目的	<対象(誰を・何を)> 借入資本金(企業債) <意図(どういう状態にしたいのか)> 元本を返済する。					
事業内容	建物・備品の取得にあたっては企業債を活用しているため、償還期限が来た元本を償還する。					
開始年度	不明			平成21年度予算の事業費明細(千円)	企業債償還金	387,081
根拠法令・要綱等	地方財政法				企業債(建物・備品等にかかる)償還金	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理					
平成21年度人員(人)	/					
	19年度決算額	20年度決算額	21年度予算額			
事業費(千円)	288,138	336,635	387,081			
人件費(千円) [参考値]						
総事業費(千円) [参考値]	288,138	336,635	387,081			
財源内訳	国・県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	134,436	180,656	227,866		
	一般財源	153,702	155,979	159,215	合計	387,081

各年度の人件費は、事務事業ごとの従事職員数に平均給与等を用いて算定したものであり、参考値となります。また、総事業費についても同様です。

事務事業判定シート

(1) 目的の妥当性

(優 ・ 可 ・ 否)

(2) 手法の効率性

(優 ・ 可 ・ 否)

利息負担を減らすため、借入機関の中で財政融資金利の低い借入先に申し込みをしている。

(3) 成果の有効性

(優 ・ 可 ・ 否)

(4) 総合評価

評価	
維持	企業債を活用して資産を取得することは、世代間負担になるし、経営が厳しい状況では有用である。ただし金利が上昇した場合は利息が経営を圧迫する場合もあるので、慎重にすべきである。

【評価の凡例】 拡充 維持 縮小 改善 休廃止

(5) 具体的な見直し・改善内容	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) = -
			0
合 計	0	0	0

事務事業シート

整理番号	22008
------	-------

事務事業名		敷金					
第4次長期総合計画	(章)		所管課		市民病院総務課		
	(節)		連絡先		(078)912-2323		
事業目的	<対象(誰を・何を)> 医師 <意図(どういう状態にしたいのか)> 医師の確保						
事業内容	医師の住宅確保に必要な敷金を支払う。平成20年度は2軒借り上げ						
開始年度	昭和 25 年			平成21年度予算の事業費明細 (千円)	敷金	医師住宅借り上げにかかる敷金	3,000
根拠法令・要綱等	明石市病院事業の財務に関する特例を定める規則						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理						
平成21年度人員 (人)	/						
	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 予算額				
事業費(千円)	10,000	850	3,000				
人件費(千円) [参考値]							
総事業費(千円) [参考値]	10,000	850	3,000				
財源内訳	国・県支出金						
	地方債						
	その他特定財源	10,000	850	3,000			
	一般財源	0	0	0		合計	3,000

各年度の人件費は、事務事業ごとの従事職員数に平均給与等を用いて算定したものであり、参考値となります。また、総事業費についても同様です。

事務事業判定シート

(1) 目的の妥当性

(優 ・ 可 ・ 否)

医師確保には必要

(2) 手法の効率性

(優 ・ 可 ・ 否)

会計処理上投資である。敷金は返還されるものであり投資の目的にあっている。

(3) 成果の有効性

(優 ・ 可 ・ 否)

医師の赴任に係る事務手続きの軽減に役立っている。

(4) 総合評価

評価	
維持	遠方からの医師赴任に際しては住宅の確保は必要不可欠である。

【評価の凡例】 拡充 維持 縮小 改善 休廃止

(5) 具体的な見直し・改善内容	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) = -
			0
合 計	0	0	0

事務事業シート

整理番号	22009
------	-------

事務事業名		医師修学等資金貸付金					
第4次長期総合計画	(章)				所管課	市民病院総務課	
	(節)				連絡先	(078)912-2323	
事業目的	<p><対象(誰を・何を)> 医学生・研修医等</p> <p><意図(どういう状態にしたいのか)> 将来の明石の医療を担う医師の育成及び確保</p>						
事業内容	<p>明石市立市民病院において医師の業務に従事しようとする方に対し、修学又は研修に要する資金を無利息で貸与することにより、医師の確保を図る。平成20年度は12名に対して貸与</p>						
開始年度	平成 20 年			平成21年度予算の事業費明細 (千円)	医師修学等資金貸付金	医学生・研修医等に対して修学資金を貸し付ける	34,200
根拠法令・要綱等	明石市市民病院医師修学等資金貸与条例						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理						
平成21年度人員 (人)	/						
	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 予算額				
事業費(千円)	0	24,000	34,200				
人件費(千円) 【参考値】							
総事業費(千円) 【参考値】	0	24,000	34,200				
財源内訳	国・県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	0	24,000	34,200		合計	34,200

各年度の人件費は、事務事業ごとの従事職員数に平均給与等乗じて算定したものであり、参考値となります。また、総事業費についても同様です。

事務事業判定シート

(1) 目的の妥当性

(優 可 否)

医師不足が叫ばれているなか医師の確保には必要である。

(2) 手法の効率性

(優 可 否)

即効性はない

(3) 成果の有効性

(優 可 否)

平成20年度から開始したため、短期間で成果はでない。

(4) 総合評価

評価	
維持	<p>学生が医師になるまで期間を要するので即効性はないが、長期的な視点に立つと有用であり、継続して行う。</p>

【評価の凡例】 拡充 維持 縮小 改善 休廃止

(5) 具体的な見直し・改善内容	見直し・改善額 (千円)	新規事業額 (千円)	削減額(千円) = -
			0
合 計	0	0	0